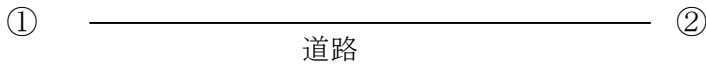


平成 20 年 10 月 1 日告示改正中間検査の取扱について

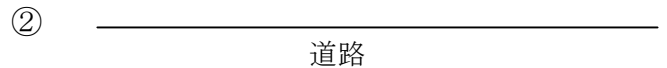
平成 20 年 9 月 18 日

中間検査が必要になりますか？



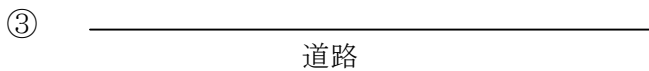
必要

用途が「住宅」で新築の為、床面積にかかわらず必要となります。



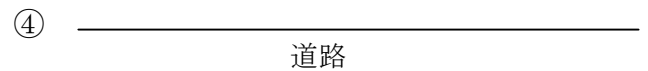
不要

物置や車庫は、「住宅」の用途でない為不要となります。



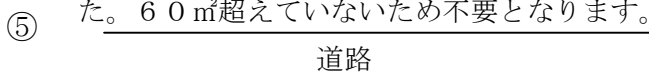
不要

今回の告示から「はなれ」は一戸建ての住宅とみなし60㎡超の物は、中間検査の対象となりました。60㎡を超えていないため不要となります。



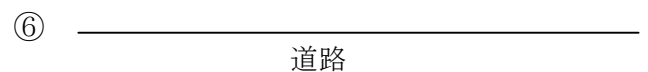
必要

この場合は60㎡を超えているため必要となります。



必要

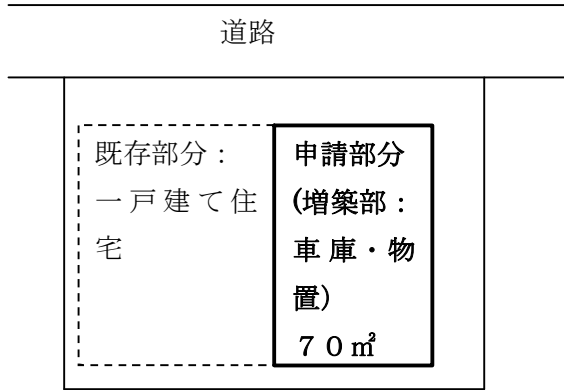
新築、増築は「棟ごと」で判断する為、この場合は新築となり、床面積にかかわらず必要となります。



不要

別の敷地から建物を移転すると新築となるが、特定工程に係る工事が無い為不要となります。

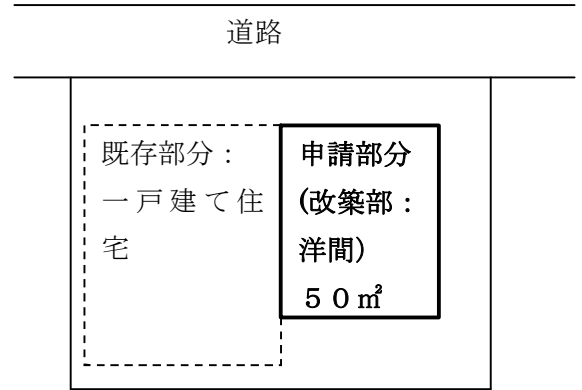
⑦



不要

増築で60㎡を超えていますが、「住宅」の用に供する部分でない為不要となります。

⑧

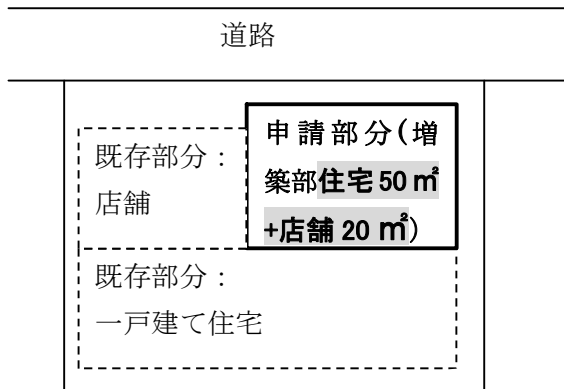


不要

建物の部分的な改築は増築扱いになり、全体的な改築は新築として扱います。

この場合は改築部分が「住宅」の用に供する部分ですが、60㎡以下の為不要となります。

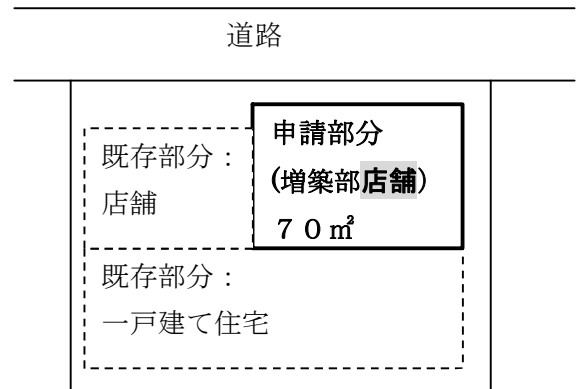
⑨



必要

「住宅」の用に供する部分を含んで60㎡を超えて増築する為必要となります。**※沼津市だけは不要**(沼津市は住宅部分のみで60㎡超場合に限り必要。)

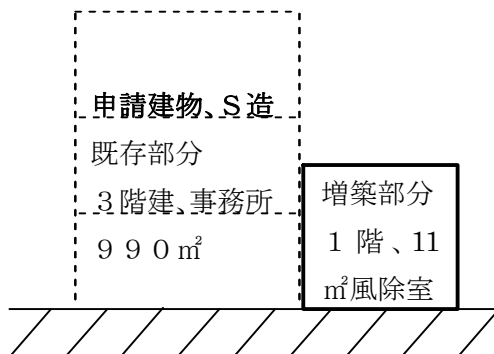
⑩



不要

増築で60㎡を超えていますが、「住宅」の用に供する部分を含んでいない為不要となります。

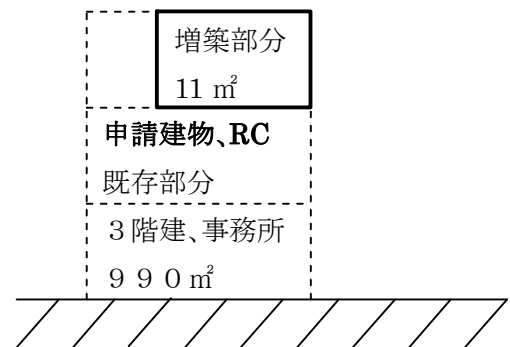
⑪



不要

増築部分が、階数が3以上で、かつ延べ面積が1000㎡を超えていない為不要となります。(増築工事部分で判断)

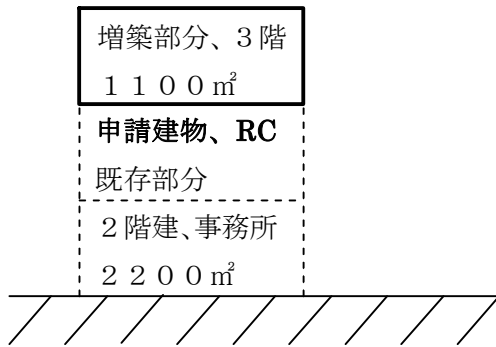
⑫



不要

増築部分が、階数が3以上ですが、延べ面積が1000㎡を超えていない為不要となります。(増築工事部分で判断)

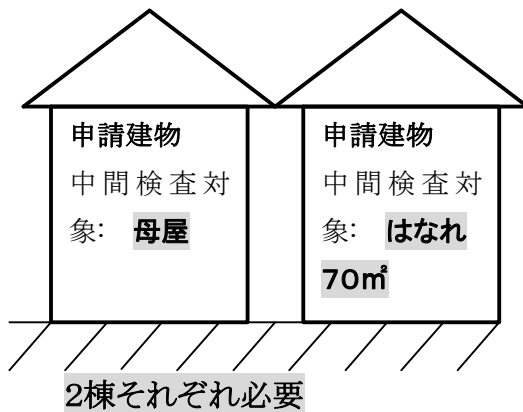
⑬



不要

増築部分が、階数が3以上で、かつ延べ面積が1000 m²を超えているが、特定工程がない為不要となります。

⑭



一敷地に、中間検査対象建築物が2棟あった場合はそれぞれ検査をすることになります。

※浜松市は、最初の棟の1回のみ必要

⑮



中間検査対象建築物を2工区に分けて工事を行う場合はそれぞれ検査をすることになります。

※浜松市は、最初の工区の1回のみ必要

今回の告示の改正は平成20年10月1日より施行されます。

施行後、確認申請書が提出された建築物が対象となります。施行日前に提出された(施行日前の日付の受付印を押された)申請書の建築物は対象となりません。

※受付印ベースとなるため9月中の事前審査の物件はご注意ください。

※疑問、質問、相談がありましたら当センター又は所管特定行政庁までお願いします。